広報うちこ
UCHIKO
2018 October vol.252
10
発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893(44)2111(代)／fax(44)4300
http://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp
内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893(44)2112(代)／fax(44)6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892(52)3111(代)／fax(52)2303
編集・広報うちこ編集委員会

住人十色

第112回

ドイツの香りを届けたい パン職人を目指してローテンブルク市へ

伊達　ももさん（27）＝小田上＝

◎ドイツへ旅立つ前日、笑顔で取材に応じてくれた

内子町の姉妹都市、ドイツ・ローテンブルク市にあるパン屋「シュトリッフラ」。そこで9月から修業を始めたのは、伊達ももさんです。内子町が募集したパン職人の研修生として3年間、ドイツのパン作りを学びます。

伊達さんが初めてローテンブルク市を訪れたのは、中学生のときに参加した青少年海外派遣事業でした。「海外の生活や文化への興味が広がるきっかけになった」と語る伊達さんは、その後も留学や旅行をするたびに、海外で生活することへの思いを募らせていきました。「もともとワーキングホリデー※に興味があった。こんなチャンスは二度とないと思い、考えるよりも先に応募していました」と笑顔を見せます。

「日本ではまだ認知度の低いドイツのパンを、内子町の皆さんに受け入れてもらいたい。誰も知らない地で、一からパン作りを学ぶのは少し不安があるけれど、いただいた貴重な機会を実りあるものにしたい」と目を輝かせます。

最後に伊達さんは「伝統的なパン作りを身に付けて、内子町にドイツの香りを届けられるような、一人前のパン職人を目指します」と抱負を述べました。

※海外で余暇を楽しみながら、滞在資金を調達するために働くことを認める出入国制度

編集幸記

▽昨年12月に特集した石畳地区を再度、取材させてもらいました。夢に向かって前進する皆さんの姿と、「現状維持は衰退と同じ」という言葉に感動しました。広報うちこも常に向上心を忘れないよう頑張ります（裕）

▽立石地区に伝わる「更生の鐘」。幻の2、3番の歌詞を復活させた山岡さんは「幼いころの思い出は、記憶の片隅に残っている」と語ります。それに比べて、しばしば昨日の夕食と朝食が思い出せない私……。脳トレの必要がありそうです（航）

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。
きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK